



分野4

子ども・教育

分野目標：夢と思いやりの心を持ち、未来を拓く子どもたちが育つまちを実現します

政策体系

4－1 子どもを産み・育てやすい環境を創る

- 4-1-1 妊娠前から子育て期までの支援の充実
- 4-1-2 子育てしやすい保育環境の充実
- 4-1-3 困難な状況にある子どもや家庭への支援の充実
- 4-1-4 児童虐待防止対策の強化
- 4-1-5 障害のある子どもとその家族への支援の充実（再掲）

4－2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

- 4-2-1 未来につながる学びの充実
- 4-2-2 学びを支える教育環境の充実
- 4-2-3 学校生活支援の充実
- 4-2-4 放課後の子どもの居場所と多様な体験・活動の充実
- 4-2-5 子ども・若者が社会で考え、行動する力の育成

4-1

子どもを産み・育てやすい環境を創る

【関連する SDGs の目標】



保育所での保育の様子

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
市合計特殊出生率 ^{P195}	—	1.21 ^{※1}	1.27 ^{※2}
6 歳未満の子どもがいる子育て世帯の数	世帯	31,208	30,900

※1 令和 3 年（2021 年）数値

※2 令和 7 年（2025 年）数値

4-1-1

妊娠前から子育て期までの支援の充実

施策の展開

- 千葉市の年少人口（15 歳未満）は減少を続けており、2030 年には、2020 年比で約 1 万 1,800 人の減少が見込まれています。未来の社会・地域を担う人材が徐々に減っていくことは、地域社会における魅力や活力の低下につながります。
- そこで、子どもを望む人が、安心して産み育てられる環境をつくるため、産婦の心と体の健康を守るための産婦健診費用の助成等を行うとともに、不妊検査費用の助成等を行います。
- また、子育て世帯の医療費負担を軽減するため、調剤費の保護者負担の見直し及び家庭環境や医療機関の利用頻度に応じた助成の拡充とともに、乳幼児の弱視を早期に発見・治療するため、3 歳児健康診査に屈折検査 ^{P195}を導入します。
- さらに、男性の子育てへの関わりを促進するため、市内企業における男性の育児休業取得を奨励するとともに、育児に関する講座・イベント等を実施し、父親同士の交流の機会を提供します。

計画事業

産婦健康診査費用の助成【新規】		健康支援課	
産婦の産後うつや早期発見や新生児への虐待予防等を図るため、産婦健康診査の費用を助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
産婦健診の費用助成	－	15,000 人	15,000 人
産科医療機関・助産院の 実地調査	関係機関との協議	産婦健診実施後 アンケートの実施	産婦健診実施後 アンケートの実施
周産期メンタルヘルス研修	産後うつ治療対応可能 医療機関との協議	実施	実施

不妊症に対する支援		健康支援課	
子どもを望む夫婦やカップルが早期に必要な治療を開始できるようにするため、若い世代に妊孕性 ^{にんようせい} ^{P203} に関する知識の普及・啓発を行うとともに、不妊検査に係る費用を助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
不妊検査の実態調査	—	市内産婦人科への周知 不妊検査体制の確立	市内産婦人科への周知 不妊検査体制の確立
不妊検査費用助成	アンケート実施	1,200 件	1,200 件
若い世代に対する妊孕性に関する知識の周知・啓発	実施	継続	実施

子ども医療費助成の拡充		こども企画課	
子どもの保健の向上と子育て支援の充実を図るため、調剤に係る保護者負担を見直すとともに、多子世帯及び持病等で通院する回数の多い子どもや長期入院を要する子どものいる世帯の医療費助成を拡充します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
調剤の保護者負担廃止	—	実施	実施
多子世帯の保護者負担額軽減	—	実施	実施
保護者負担金額への月額上限の導入	—	実施	実施

乳幼児健康診査の拡充		健康支援課	
弱視の早期発見と早期治療のため、3 歳児健康診査において全対象者に対し、屈折検査 ^{P195} を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
視力検査及び屈折検査の実施	—	実施	実施

男性の子育て支援		幼保支援課	
男性の子育てを支援するため、男性の育児休業の取得に向けた奨励金の支給や育児に関する講座・イベントを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
男性の育児休業取得促進奨励金	５件/年	継続	５件/年
男性の育児に関する講座・イベントの開催	プレパパママ講座 １２回/年 パパスクール ４回/年	継続	プレパパママ講座 １２回/年 パパスクール ４回/年
イクメンハンドブックの作成	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
EPDS ^{P208} 等の実施率	%	—	93
妊娠後期面接の実施率	%	24	50

施策の展開

- 千葉市では、保育園等の待機児童ゼロを令和2年度（2020年度）から3年連続で達成していますが、施設の老朽化、局所的な保育需要の増加、保育ニーズの多様化など、保育を取り巻く様々な課題に対応することが必要です。
- そこで、良好な保育環境を確保するため、公立保育所の建替え・改修を進めるとともに、民間保育園等の整備や改築・改修を支援します。また、幼稚園の認定こども園への移行や民間事業所内への保育施設の整備等を支援するとともに、一時預かりや休日保育の実施施設を拡充するなど、地域の実情や多様化する保護者のニーズに応じた保育の選択肢の拡充を図るほか、看護師の配置を充実することで、日常的に医療的ケアが必要な子どもの受入環境を整備します。
- さらに、在宅で子育てをしている世帯を支援するため、エンゼルヘルパー^{P192}派遣及びファミリー・サポート・センター^{P204}の利用料負担の軽減を図ります。

計画事業

保育施設の建替え・改修		幼保支援課、幼保指導課		
良好な保育環境を確保するため、老朽化した施設の建替え、大規模改修を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
公立保育所の建替え	建替え（民営化）	３か所	６か所増	９か所
	建替え（公立）	－	１か所	１か所
	統廃合	－	１か所	１か所
民間保育園等改築（改修）の助成	改築	２か所	３か所増	５か所
	大規模修繕	－	２か所	２か所

ニーズに応じた保育の受け皿の確保			幼保支援課	
潜在的な保育需要に対応し、将来にわたって待機児童ゼロを達成するため、子ども・子育て支援事業計画等に基づき、認定こども園への移行支援等による保育の受け皿を確保します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
認定こども園への移行支援		42 か所	13 か所増	55 か所
認可外保育施設の認可化移行支援		－	7 か所	7 か所
小規模保育事業の開設支援		58 か所	4 か所増	62 か所
事業所内保育事業の認可支援		15 か所	3 か所増	18 か所
民間保育園の整備		170 か所	14 か所増	184 か所
開園前及び開園後の賃借料補助	開園前 実施		3 件	3 件
	開園後 実施		6 件	6 件

多様な需要に対応した保育の充実		幼保支援課、幼保運営課	
多様化する保育ニーズに対応するため、一時預かりや休日保育などを実施する施設を拡充します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
一時預かりの拡充	74 か所	3 か所増	77 か所
休日保育の拡充	9 か所	1 か所増	10 か所
病児・病後児保育の拡充	10 か所	2 か所増	12 か所

教育・保育人材の確保及び質の向上		幼保運営課、幼保指導課	
教育・保育人材を確保するとともに、保育の質を向上させるため、保育士の処遇改善に向けた支援や、巡回指導員の拡充等を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
保育士等給与の改善	3,176 人	129 人増	3,305 人
宿舍借上げ助成	513 人	30 人増	543 人
外国人児童・保護者対応職員の拡充	3 人	3 人増	6 人
巡回指導員の拡充	15 人	1 人増	16 人

医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備		幼保運営課、幼保指導課	
医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を拡充し、受け入れ体制を強化します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
看護師の拡充	６人	１人増	７人

在宅子育て家庭への支援		幼保支援課	
在宅の子育て世帯への支援のため、多胎児のいる家庭等のエンゼルヘルパー ^{P192} 派遣及びファミリー・サポート・センター ^{P204} の利用料について、負担の軽減を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
エンゼルヘルパー派遣の利用料減額	—	実施	実施
ファミリー・サポート・センターの利用料助成	—	実施	実施

男性保育士の活躍推進		幼保指導課	
男性がより積極的に育児にかかわる機運を醸成するとともに、保育の質の向上及び子どもたちの健全な成長を促進するため、公立保育所において、男性保育士等が働きやすい執務環境を整備します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
男性保育士の執務環境整備	トイレ整備 45 か所	トイレ整備 ５ か所	トイレ整備 50 か所
男性保育士の登用	男性保育所長 １ 人 男性総括主任保育士 5 人	男性保育所長 ２ 人増 男性総括主任保育士 3 人増	男性保育所長 ３ 人 男性総括主任保育士 8 人

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
保育所待機児童数	人	0	0
子育て支援コンシェルジュ ^{P196} 相談件数	件	11,047	15,500

施策の展開

- 少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加等、子育て世帯を取り巻く環境が変化する中、家庭環境や経済的な状況等、子ども達が置かれた環境に左右されることなく、健やかに、夢や希望を持って成長できる環境をつくる必要があります。
- そこで、子どもをひとりの人間として尊重し、地域社会全体で子どもの健全な育成を見守る社会をつくるため、こども基本条例を制定し市民意識の醸成を図るとともに、子どもに関する施策の総合的な推進体制を整備します。
- また、ヤングケアラー^{P206}を支援するため、支援を要する子どもを速やかに発見し、適切な相談・支援機関につなぐことができる体制を構築するとともに、ヤングケアラーに関する認知度と支援技術の向上を図るため、関係機関を対象とした研修等を実施します。
- さらに、経済的な貧困等、困難な状態におかれた子どもの生活習慣を改善し、学習環境を整えるため、包括的な支援を行う子どもナビゲーター^{P196}の配置を拡充するとともに、生活保護受給世帯等への学習支援を実施します。

計画事業

こども基本条例の制定【新規】		こども企画課	
子どもが健やかに成長できるまちにするため、市の責務や保護者や地域住民等の努力などのほか、子どもの権利をはじめとするこども施策の基本となる事項を規定するこども基本条例を制定します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
条例の制定	—	こどもを対象とした ワークショップ開催 シンポジウム開催 リーフレットの配布 条例の制定	こどもを対象とした ワークショップ開催 シンポジウム開催 リーフレットの配布 条例の制定

ヤングケアラー支援体制の強化【新規】		こども家庭支援課	
ヤングケアラーを早期に発見し、支援につなげるため、ヤングケアラーに関する認知度向上を図るとともに、関係機関と連携し支援を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
連携支援体制 (支援コーディネート機能)の構築	—	実施	実施
児童生徒の認知度向上事業	—	児童生徒向け啓発 パンフレット作成	児童生徒向け啓発 パンフレット配布
関係機関職員向け研修	3 回/年	継続	3 回/年

子どもの貧困対策の総合コーディネート		こども家庭支援課	
困難な状況におかれた子どもの生活習慣や生活環境の改善、関係機関との連携など包括的な支援を行うため、子どもナビゲーターを各区に配置します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
子どもナビゲーターの配置	5 区	1 区増	全区配置

生活保護受給世帯等に対する学習・生活支援		保護課	
家庭環境によって学びが左右されない環境を整えるため、生活保護受給世帯等の子どもに対する学習及び生活支援を拡充します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
生活保護受給世帯等の 学力向上等支援	中学生 2・3 年生対象	中学生 1 年生への 学習意欲の喚起	中学生全学年への支援強化

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
子ども・若者総合相談センターの機関連携件数	件	712	1,200

施策の展開

- 千葉市における児童虐待対応件数は増加し続けており、また、案件の複雑化・困難化が進んでいます。このような中で、虐待を早期に発見し、的確かつ迅速に対応するためには、市全体の虐待対応体制の強化を図る必要があります。
- 児童相談所の体制を強化するため、新たな児童相談所の整備を進めるとともに、子どもや妊産婦の福祉に関する相談対応や調査指導など支援を行い、虐待の防止につなげる子ども家庭総合支援拠点^{P196}を整備し、児童相談所との連携のもと、虐待への対応を強化します。

計画事業

新児童相談所の整備【新規】

こども家庭支援課
東部児童相談所

児童虐待の増加、複雑・困難化に対応するため、新たな児童相談所を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
新たな児童相談所の整備	基本計画策定	基本設計、実施設計 工事	基本設計、実施設計 工事

子ども家庭総合支援拠点の整備

こども家庭支援課

子どもとその家庭、妊産婦等に対する支援の充実を図るため、各区に子ども家庭総合支援拠点を整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
子ども家庭総合支援拠点の設置・運営	中央区に設置	全区設置	全区で運用

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
子ども家庭総合支援拠点における3職種配置数	人	—	40
里親登録数	件	98	160

施策の展開

- 障害のある子どもの支援にあたっては、本人の最善の利益を考慮しながら、健やかな育成を支援するため、障害のある子どものライフステージに沿って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、一人ひとりに合った切れ目のない支援を提供する体制を構築することが必要です。また、障害の中には、その特性上、周囲に気付かれにくいものもあるため、適切な時期に適切な療育を受けられるよう、障害の早期発見・早期療育体制を充実することも求められています。
- そこで、発達障害の早期発見と早期支援を図るため、総合相談窓口を開設し、子どもの成長に合わせた切れ目のない、一貫した支援体制を構築します。
- また、障害のある子どもを支える家族の悩みや不安を解消するため、家族介護者向けの支援を充実します。

計画事業

発達障害への支援の推進【再掲・新規】

障害者自立支援課、障害福祉サービス課

発達障害の早期発見・早期支援を図るため、療育体制と相談支援の充実を図ります。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
総合相談窓口の開設	—	開設	開設

医療的ケアが必要な子どもの受入体制の整備【再掲】

幼保運営課、幼保指導課

医療的ケアが必要な子どもの保育ニーズに対応するため、看護師の配置を拡充し、受け入れ体制を強化します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
看護師の拡充	6人	1人増	7人

特別支援教育の充実【再掲】

養護教育センター、教育支援課

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	44名	3名増	47名
学校訪問相談員の拡充	1,484時間	676時間増	2,160時間
心理判定員の配置時間拡充	54時間/週	9時間/週増	63時間/週
特別支援教育エリアコーディネーターの拡充	2区配置	4区増	全6区配置

介護者支援の強化【再掲】

高齢福祉課

家族介護者の身体的・精神的負担を軽減するため、介護に関する基礎的知識を学習する研修を開催するとともに、オンラインを活用した訪問レッスンや介護の悩みに関する相談受付を実施します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
家族介護者向け研修	7回/年	1回/年増	8回/年
訪問レッスン	65回/年	5回/年増	70回/年
家族介護者向け相談窓口	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
療育相談所における相談件数（再掲）	件	625	625

4-2

自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する

【関連する SDGs の目標】



ICT 端末を活用した授業の様子

【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
全国学力・学習状況調査における全国平均 正答率との比較（市立小・中学校）	ポイ ント	小学・国語 0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0	小学・国語+1.0 小学・算数+1.0 中学・国語+1.0 中学・数学+1.0

4-2-1

未来につながる学びの充実

施策の展開

- 千葉市では、平成 28 年度（2016 年度）に第 2 次学校教育推進計画を策定し、「夢と思いやりの心を持ち、チャレンジする子ども」の育成に向けて、様々な施策に取り組んできたところですが、少子高齢化や ICT^{P208}を含むテクノロジーの進展など、子どもたちを取り巻く社会環境は変化が著しく、将来の予測が困難な状況にあります。その中においても、子どもたちが次代を切り拓いていくためには、子どもたちが将来に夢や希望を持ち、主体性をもって困難な課題に取り組む姿勢を養う必要があります。
- そこで、子どもたちの興味・関心を引き出し、自分の進路や将来を主体的に考える力を育成するため、民間企業による出前講座などのキャリア教育^{P194}を推進するとともに、他者を思いやり、尊重する「共生社会」の実現のため、通常学級と特別支援学級との交流などによる「インクルーシブ教育システム^{P192}」の構築を推進します。
- また、デジタル技術の活用による教育の充実を図るため、GIGA スクール構想^{P208}に基づく取組みを一層推進するとともに、指導者用デジタル教科書^{P201}の導入・活用を推進します。
- さらに、地域の理解のもとで学校教育における食育^{P198}を推進するため、学校給食の試食会を行います。
- 加えて、市立高校において、生徒から選ばれる魅力ある学校づくりを行うため、それぞれの学校が持つ特色を更に磨き上げる取組みを実施します。

計画事業

キャリア教育の推進		教育改革推進課	
児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促すため、企業等との連携により出前授業をはじめとした職業体験学習を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
キャリア教育推進連携会議の開催	２回/年	継続	２回/年
副読本の改訂	実施	継続	実施
企業等による出前授業	実施	継続	実施

インクルーシブ教育システムの推進		教育支援課	
共生社会を実現するため、通常学級と特別支援学級との交流など、「交流及び共同学習」を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
学校内交流	101 回/年 (１人あたり)	45 回/年増 (１人あたり)	146 回/年 (１人あたり)
学校間交流	3.7 回/年 (１校あたり)	2.1 回/年増 (１校あたり)	5.8 回/年 (１校あたり)
居住地校交流 ^{P194}	131 回/年	27 回/年増	158 回/年

体験学習等を通じた非認知能力の向上		教育指導課	
児童生徒の非認知能力を向上させるため、集団宿泊学習や自然体験活動などの多様で豊かな体験活動の充実を図ります。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
校外体験学習の充実	実施	継続	実施

I C T 教育の推進		教育指導課 教育改革推進課 教育センター	
GIGA スクール構想 ^{P208} の実現に向けて ICT ^{P208} 教育を推進するため、教職員及び児童生徒への必要な支援を行うとともに、校内ネットワーク環境や指導者用デジタル教科書 ^{P201} を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
CABINET ^{P208} の更新	—	更新・運用開始	更新・運用開始
指導者用デジタル教科書の導入・活用	実施	継続	実施
学校 ICT 支援	実施	継続	実施

地域資源の活用などによる郷土教育の充実		教育指導課	
児童生徒が自分たちの暮らす郷土に誇りや愛着を持てるようにするため、地域資源を扱うなど、副読本を改定します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
副読本の改訂	実施	継続	実施
千葉開府 900 年 ^{P200} に向けた 機運醸成	実施	継続	実施

学校における食育の推進		保健体育課	
広く市民に本市の学校給食や食育 ^{P198} の現状を知ってもらうため、地場農産物を使った学校給食の試食会を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
学校給食の試食会の実施	－	6 回/年	6 回/年

市立高等学校教育の充実		教育改革推進課	
魅力ある学校づくりのため、千葉高校においてスーパーサイエンスハイスクール ^{P198} 事業の着実な実施を図るとともに、稲毛高校において稲毛国際中等教育学校への移行を進めつつ、稲毛高校・附属中学校の教育資産を継承し、グローバル・リーダーを育成するため、6年間一貫した教育活動を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
スーパーサイエンスハイスクールの推進（千葉高校）	実施	継続	実施
グローバル・リーダー育成の推進（稲毛高校）	実施	継続	実施

学校教育における文化芸術に触れる機会の充実【再掲】		教育指導課	
文化芸術を愛好する情操などを涵養し、豊かな心と感性を育てるため、中学校において伝統音楽や声楽、器楽合奏の鑑賞及び体験活動を通して音楽文化への理解を深めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
音楽芸術体験教室の実施	26校/年	2校/年増	28校/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
読書の習慣のある児童の割合	%	小学3年生 47.5 小学5年生 42.4 中学2年生 41.5	小学3年生 51.0 小学5年生 46.0 中学2年生 45.5
市図書館における1人あたりの貸出図書冊数	冊	4.2	4.3
「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT ^{P208} 機器を、週3回以上使っている」と答えた児童生徒の割合	%	小学6年生 44.8※ 中学3年生 30.5※	小学6年生 80.0 中学3年生 80.0
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小学6年生 80.2 中学3年生 65.4	小学6年生 82.0 中学3年生 68.0

※ 令和4年度（2022年度）時点

施策の展開

- 千葉市はこれまで、国に先駆けて少人数学級及び少人数指導の実現や、専科指導の充実を進めてきたところですが、今後は、更なる教育の質の向上に向けた教職員の資質・指導力の向上と、教職員の働き方改革の両立を図ることが重要です。特に、意欲と資質の高い教員を確保するためにも、教員が真に必要な業務に専念することができる環境の構築に取り組む必要があります。
- そこで、引き続き、少人数学級・少人数指導の推進、専科指導及び部活動指導員等の充実に取り組むとともに、教員が主体的に自身のキャリアステージや時代の変化に応じた資質・能力を身に付けることができるよう支援します。
- また、子どもたちの健やかな成長のため、学校、家庭、地域が一体となり、「地域とともにある学校づくり」に向けて、学校と地域の連携・協働体制の充実に取り組むとともに、地域における児童生徒数に応じて適切な教育環境と教育の質が確保できるよう、小学校の新設を含め、学校規模の適正化や適正配置を推進します。
- さらに、様々な事情により十分な教育を受けられなかった方々の学び直しを支援するため、公立夜間中学を開校します。
- 加えて、児童生徒の教育環境の向上を図るため、令和4年度（2022年度）に開校した稲毛国際中等教育学校の全面的な改修やトイレの改修など、老朽化が進行した学校施設の計画的な保全に取り組むとともに、学校給食施設の適切な衛生管理及び給食従事者の作業環境を整えるため、給食室へ冷暖房設備を整備します。

計画事業

少人数学級・少人数指導の推進

教育職員課

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導を可能とするため、少人数学級・少人数指導を推進します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
学級編制基準の見直し	小学校1～3年生 35人学級 小学校4～6年生 38人学級	小学校4～6年生 35人学級	小学校全学年 35人学級
教員配置の見直し	—	見直し	見直し

教職員の働き方改革

教育職員課

教職員が心身の健康を保持しながら児童生徒と向き合うことで教育の質を向上させるため、学校における教職員の働き方改革を進めます。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
専科指導教員の拡充	64名	15名増	79名
専科非常勤講師の拡充	106名 (うち、外国語専科0名)	27名増 (うち、外国語専科20名)	133名 (うち、外国語専科20名)
部活動指導員等の拡充	部活動指導員 55名	15名増	70名
	民間指導者 50名	15名増	65名
教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置見直し	—	見直し	見直し

教職員の資質・指導力の向上		教育センター	
教職員の資質・能力の向上を図るため、教員等育成指標に基づき研修体系の見直しを行うとともに、研修受講履歴の管理・運用による教職員の適切な研修受講を促進するため、記録システムを導入します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
教職員の研修受講履歴記録システムの導入	—	導入・運用	導入・運用

学校と地域の連携・協働体制の充実		学事課	
学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図るため、学校支援地域本部の設置を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
学校支援地域本部の設置	65 校	30 校増	95 校

学校適正規模・適正配置の推進		教育委員会企画課	
児童生徒のより良い教育環境を整備し、教育の質を充実させるため、学校適正配置を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
学校適正配置のあり方検討	－	検討	検討

小学校の新設（幕張新都心若葉住宅地区）		学校施設課	
幕張新都心若葉住宅地区の宅地開発に伴う児童の増加に対応するため、小学校を新設し、良好な教育環境を確保します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
小学校の新設	基本設計	実施設計・建築工事	完了

公立夜間中学の運営【新規】		教育委員会企画課	
様々な事情により、十分な教育を受けられなかった者の学び直しを支援するため、公立夜間中学を開校します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
公立夜間中学の開校・運営	－	開校・運営	開校・運営

稲毛国際中等教育学校の改修		学校施設課	
老朽化が進んだ学校施設の安全性を確保するため、全面的な改修工事を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
校舎等改修	実施設計	工事	完了
グラウンド整備	－	実施設計	実施設計

学校施設の環境整備			学校施設課	
学校施設の長寿命化を図り、学びの環境を整えるため、計画的な保全を行うとともに、施設環境・機能を改善するための改修工事を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
大規模改造	小学校	17校	4校	21校
	中学校	4校	3校	7校
外部改修	小学校	44校	10校	54校
	中学校	15校	9校	24校
トイレ改修	小学校	43校	30校	全校完了
	中学校	28校	13校	全校完了
	特別支援学校	2校	1校	全校完了
トイレの 洋便器化	小学校	－	8校	8校
	中学校	－	4校	4校
	高等学校	－	1校	1校
小学校の給食室エアコン整備		54校	53校	全校完了

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
学校支援地域本部支援件数	件	242	1,260
勤務時間を除く在校等の時間が月平均 45 時間を超えない教職員の割合	%	52	100

施策の展開

- 千葉市ではこれまでも、様々な悩みや課題を抱えた児童生徒への支援を行ってきましたが、社会経済情勢の変化により、子どもや家庭の抱える課題は、一層複雑化しており、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい対応が必要です。
- そこで、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、成長に合わせた切れ目のない支援を行うため、特別支援教育指導員による学校生活サポートを充実するほか、訪問相談員を拡充し、様々な教育的ニーズがある児童生徒を支援できるよう学校体制を構築するとともに、多様化・複雑化する相談内容に迅速に対応するため、養護教育センターに必要な相談体制を整えます。
- また、本市の不登校児童生徒数は小・中学校ともに増加しており、喫緊の課題となっています。そのため、スクールカウンセラー^{P198}など専門の相談員を拡充するなど、不登校児童生徒が安心して登校できる環境をつくるとともに、不登校児童生徒それぞれの実態に応じた学びの場を確保するため、ライトポート^{P206}の充実やフリースクール^{P205}との連携強化を進めます。
- さらに、教職員がいじめに関する正しい理解を得るとともに、いじめ発生時における支援強化のため、教職員を対象とした研修会を行います。
- 加えて、基礎学力の向上を図るため、学習習慣の確立に向けたオンラインによる学習支援事業を行うとともに、外国人児童生徒等に対する日本語指導通級教室を拡充します。

計画事業

特別支援教育の充実

養護教育センター、教育支援課

障害のある児童生徒に対し幅広い支援を行うため、特別支援教育に係る各専門職の配置を拡充します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
特別支援教育指導員の拡充	44名	3名増	47名
学校訪問相談員の拡充	1,484時間	676時間増	2,160時間
心理判定員の配置時間拡充	54時間/週	9時間/週増	63時間/週
特別支援教育エリアコーディネーターの拡充	2区配置	4区増	全6区配置

養護教育センターの整備【新規】

養護教育センター

多様化・複雑化し、増加傾向にある特別支援教育に関する相談に対して迅速かつ的確に対応するとともに、学校支援の充実を図るため、養護教育センターを移転・整備します。

取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
養護教育センターの新設	—	設計・工事	設計・工事

不登校対策の推進		教育支援課、教育センター	
不登校児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行うため、各種相談員の配置を拡充するとともに、千葉市教育支援センター「ライトポート ^{P206} 」における小学生専用教室の整備や、フリースクール ^{P205} との連携強化などにより、学校以外の居場所を確保します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
小学生向けライトポートの拡充	３区	３区増	全６区設置
家庭訪問カウンセラー、 来所相談カウンセラーの拡充	２名	６名増	８名
ステップルームティーチャー ^{P199} の配置	－	10名配置	10名配置
教育相談コーディネーター の配置	－	２名配置	２名配置
スクールカウンセラー ^{P198} の拡充	79名	21名増	100名
フリースクールとの連携事業 の拡充	１件	１件増	２件

いじめ防止対策の推進		教育支援課	
児童生徒が安心して学ぶことができる環境を整備するため、子どもの権利やいじめに対して教職員が適切に対応できるよう研修会等を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
いじめ対応研修会の開催	２回/年	１回/年増	３回/年
学校要請訪問の充実	41 回/年	9 回/年増	50 回/年

スクールソーシャルワーカーの拡充		教育支援課	
困難な状況にある児童生徒一人ひとりに対して的確に支援するため、スクールソーシャルワーカー ^{P198} の配置を拡充します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
スクールソーシャルワーカーの拡充	12 人	2 人増	14 人

学習習慣の確立に向けた支援の充実		教育指導課	
学力定着に向けて児童生徒の学習習慣の確立を図るため、市内全区においてオンラインによる教育課程外の学習支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
学習支援事業	２地区	４地区増	６地区

外国人児童生徒等への支援体制の充実		教育指導課	
外国人児童生徒などの日本語習得を支援するため、中学生を対象とした日本語指導通級教室のサテライト教室を花見川区に開設します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
日本語指導通級教室の拡充	本教室 ２か所	サテライト教室 １か所増	本教室 ２か所 サテライト教室 １か所

幼児教育の推進		幼保支援課	
幼児教育と小学校教育とのつながりを強化するとともに、幼児教育の質の向上を図るため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の教職員同士の連携強化を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
情報交換会の開催	１回/年	１回/年増	２回/年

ひきこもり相談支援体制の拡充【再掲】		精神保健福祉課	
ひきこもり本人の社会参加及び自立を促進し、本人及び家族の福祉の増進を図るため、相談に応じた適切な助言や、家庭訪問及び同行支援等の継続的な伴走型支援を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
家庭訪問、同行支援、出張相談	実施	継続	実施
出張個別相談会（モデル実施）の実施	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和３年度末	目標値 令和７年度末
スクールカウンセラー ^{P198} 相談件数	件	51,774	73,800
ソーシャルワーカー対応事案数	件	206	280
学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない 不登校児童生徒の割合	%	42.3	14.0
いじめ解消率	%	60.0	70.0

施策の展開

- 千葉市では、保護者の仕事と子育ての両立支援及び放課後に子どもが安全・安心に過ごせる環境の整備に取り組んでおり、子どもルーム（放課後児童クラブ）の待機児童数は減少傾向にあります。依然として待機児童が生じている状況にあります。
- 特に、小学校の夏季休業期間などを中心に子どもルームの利用希望者が多い傾向にあることから、引き続き、需要が高い地域に的を絞った施設整備や夏季休業期間中の受け入れ枠拡大などに取り組みます。
- 今後は、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての児童に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクール^{P191}を原則として全小学校に導入することを目指して、子どもルーム及び放課後子ども教室からアフタースクールへの移行を進めます。
- また、ギガタブ^{P193}を活用した宿題・自主学習への対応を可能とするため、子どもルーム・アフタースクールにおける Wi-Fi 環境の整備を行います。
- さらに、放課後に限らない地域における子どもの居場所を確保するため、どこでもこどもカフェやプレーパーク^{P205}等の身近で自由に過ごせる場所を拡充するとともに、見守りを行うボランティアの養成に引き続き取り組みます。

計画事業

子どもルームの充実		健全育成課	
仕事と子育ての両立支援と放課後児童の健全育成を図るため、子どもルームの増設や保育の質の向上に向けた指導員研修を実施するとともに、民設子どもルームの利用促進を図るほか、小学校におけるギガタブを活用した学習に対応するため、公設子どもルームの Wi-Fi 環境を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
子どもルームの新設	－	3 か所	3 か所
教室改修	－	6 か所	6 か所
夏季休業中の受入枠拡充	3 施設	6 施設	9 施設
子どもルーム指導員研修の実施	1 回/年	1 回/年増	2 回/年
公設子どもルームの Wi-Fi 環境整備	－	93 か所	93 か所

アフタースクールの充実		生涯学習振興課	
希望するすべての児童に安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため、放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体的に運営するアフタースクールの導入を進めるとともに、アフタースクールの導入が当面困難な学校や、導入までに一定以上の期間を要する学校においても、体験・活動の機会の充実を図るほか、ギガタブを活用した宿題・自主学習に対応するため、Wi-Fi 環境を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
アフタースクールの導入	24 校	30 校増	54 校
放課後子ども教室の活動支援	17 校	3 校増	20 校
放課後子ども教室の民間委託	－	3 校	3 校
Wi-Fi 環境整備	－	20 か所	20 か所

子どもの居場所づくり		こども企画課	
子どもが安全・安心に過ごせ、健やかに成長できるようにするため、学校でも家庭でもない、地域において信頼できる大人が見守る子どもの居場所を拡充します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
子どもの居場所の拡充	26 か所	6 か所増	32 か所
子どもの居場所サポーター ^{P196} 養成講座	1 回/年	継続	1 回/年
子どものSOS支援員 ^{P196} 養成 講座	1 回/年	継続	1 回/年

【重要業績評価指標（K P I）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
子どもルーム待機児童数	人	83	0
アフタースクール ^{P191} 導入率	%	18.4	55.7
中学校区における子どもの居場所の整備率	%	35.2	50.0

施策の展開

- 令和3年度（2021年度）の全国学力・学習状況調査によると、「地域や社会をよくするために、何をすべきかを考えることがある」と回答した児童生徒の割合は、小学生6年生が52.8%に対して中学3年生が38.3%となっており、年齢が上がるにつれて割合が低下しています。
- そのため、子ども・若者に対して、社会の一員としての自覚を促し、将来の地域や社会の担い手として成長できるよう、こども・若者の力ワークショップや職員による出張授業などを通じて地域の課題について学ぶ機会をつくとともに、こども・若者フォーラムの開催により情報発信を行い、こどもの参画を推進します。

計画事業

こどもの参画の推進		こども企画課	
社会の一員としてのこどもの自覚と自立を促進するため、こども・若者を対象とした社会参画の取組みを実施するとともに、取組み内容の情報発信を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
こども・若者の力ワークショップの開催	12 回/年	継続	12 回/年
こども・若者市役所の開催	12 回/年	継続	12 回/年
こどものまち CBT ^{P196} の開催	1 回/年	継続	1 回/年
小・中学校への出張授業等の実施	6 校/年	3 校/年増	9 校/年
こども・若者フォーラム	1 回/年	継続	1 回/年

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
こどもの参画事業参加人数	人/年	904	2,385